

## 単元名 Unit 4 Friends in New Zealand

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 命令文や疑問詞What+名詞…?を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。さらに、相手に対して指示や助言をしたり、知りたい時刻や相手の好きなものについて尋ねたり伝えたりすることができる。
- (2) 命令文や疑問詞What+名詞…?を用いて、相手の状況に合わせて即興で最適な指示や助言をしたり、知りたい時刻や相手の好きなものについて尋ねたり伝えたりすることができる。
- (3) 命令文や疑問詞What+名詞…?を用いて、相手の状況に合わせて指示や助言をしたり、知りたい時刻や相手の好きなものについて尋ねたり伝えたりするなど、即興でコミュニケーションを行おうとする。

## 標準的な展開例

10250105\_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Part1 指示や助言の伝え方を学習する。 ★相手に指示したり助言したりしよう。 ○Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○命令文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○基本表現の学習をする。 ○本文の学習をする。 ○練習問題に取り組む。</p> <p>2 Part2 時刻の尋ね方や答え方を学習する。 ★時刻の尋ね方や答え方について伝え合おう。 ○Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○What time…? の文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○基本表現の学習をする。 ○本文の学習をする。 ○練習問題に取り組む。</p> <p>3 Part3 好きなものの尋ね方と答え方を学習する。 ★お互いの好きなものを尋ねたり答えたりしよう。 ○Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○What+名詞…? の文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○基本表現の学習をする。 ○本文の学習をする。 ○練習問題に取り組む。</p> <p>4 Grammar for Communication 疑問詞の使い方・形を学習する。 ★疑問詞の使い方・形を学習しよう。 ○疑問詞の使い方・形を学習する。</p> <p>5 単元を通して学んだことを用いて、自分の質問を考える活動に取り組む。 ★学習事項を使って、質問内容を考えよう。 ○パフォーマンステストの説明をする。</p> <p>○学習事項を振り返る。 ○質問のメモを作成する。</p> <p>6 パフォーマンステストに取り組む ★学習事項を使ってパフォーマンステストに取り組もう。 ○1分以内にALTに対してインタビューをする。</p> <p>○グループでALTについてのポスターを作る。</p>	<p>・電子黒板に地図を映し、目的地を変えて複数回できるよう工夫する。</p> <p>・Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に疑問文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・概要をつかませる。</p> <p>・Your Turnを行い、基本文の定着を図る。 【評】 標識の意味を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・質問だけのやりとりではなく、挨拶から行い会話の中でやりとりをさせる。</p> <p>・Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に疑問文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・概要をつかませる。</p> <p>・Your Turnを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・巻末資料の一日の生活を用いて、さまざまな活動の時間を尋ね合う活動を行う。 【評】 一日の生活について尋ね合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教師が生徒全員に尋ねた後、生徒同士で活動に取り組みさせる。</p> <p>・Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に形・意味・用法を確認する。</p> <p>・概要をつかませる。</p> <p>・Your Turnを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・巻末資料p152以降を用いて、ペアやグループでさまざまなテーマについて尋ね合わせる。 【評】 相手の好きなものを尋ねる活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書付属の問題や教師の自作した問題に取り組みせ、基本表現の定着を図る。 【評】 練習問題への取組を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・インタビュー活動のループリック評価を示したり、過去の先輩の動画を見せたりして、自己紹介に向けての意欲を高める。</p> <p>【評】 インタビューの内容を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・インタビュー内容をグループでまとめさせてALTの紹介ポスターを作らせる。 【評】 ALTへのインタビュー内容を通して、「</p>

7 聞き取ったことを共有する。

- ★ポスターを基に，学級でALTについてシェアしよう。
- 各グループで発表の方法や役割を考える。

- 前に出てきて発表する。

- 最もよく調べられていたグループを表彰する。

8 単元のまとめ 単元テストに取り組む。

- ★学習事項をまとめ，単元テストに取り組もう。
- 単元テストに取り組む。

- Unitの目標を振り返り，できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。

知識・技能」を評価する。

【評】ALTへのインタビューを通して，「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ポスターを黒板に掲示したり，電子黒板に映したりして，グループで分担してインタビューした内容を発表する。

- ・よい取組のグループを選ばせる。

【評】ALTへのインタビュー内容を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【評】単元テストを通して，学習事項についての「知識・技能」を評価する。

#### 【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各パートにあるBeat by BeatやSounds and Lettersを用いて，音読の際のイントネーションや発音をその都度確認すると，リスニング力につながることを伝えたい。